

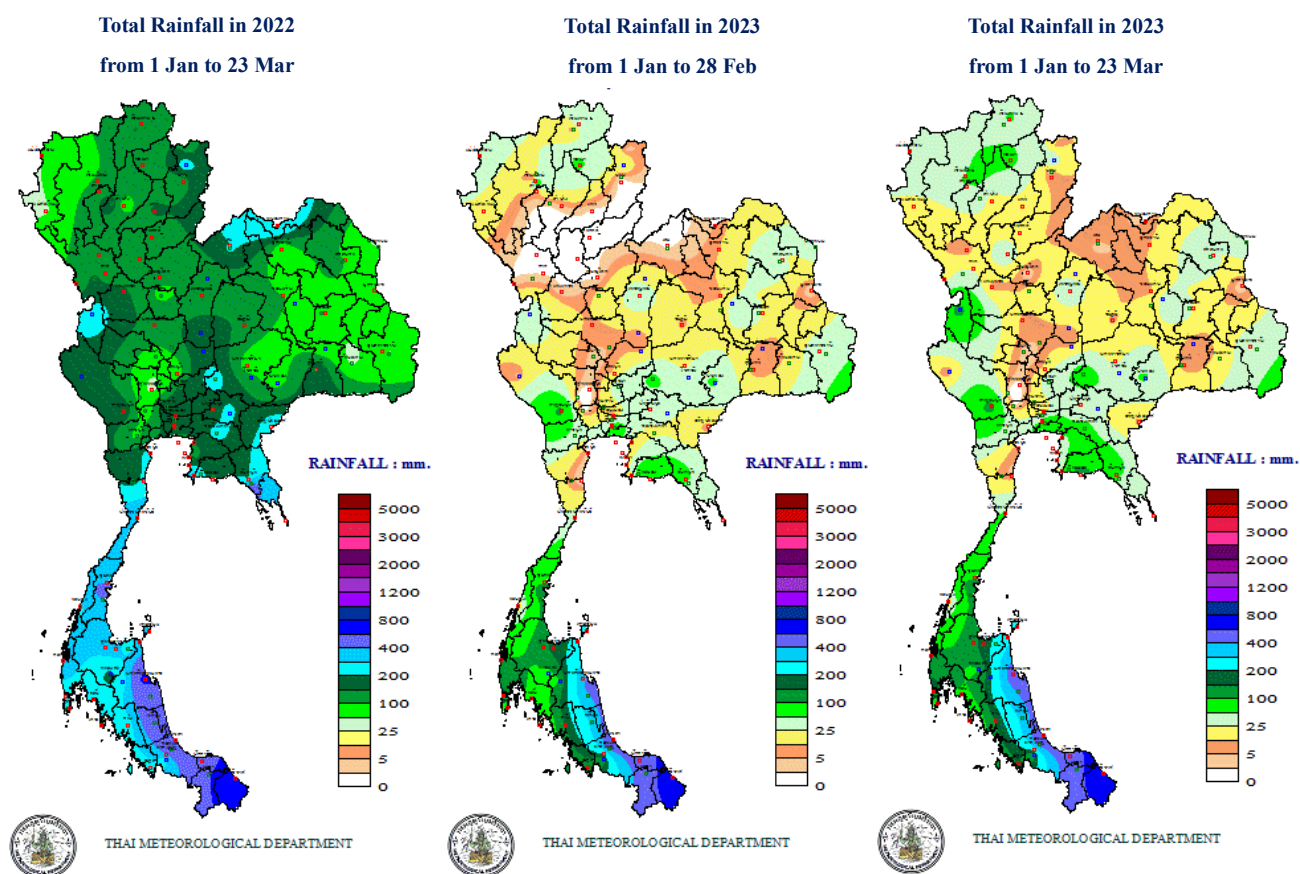
## InterRisk Thailand Flood Report <2023-01>

### タイの洪水情報

#### [Summary]

- 昨年の同時期と比較して、今年の累積降水量は北部を中心に減少しています。
- 4月から全国的に気温が高くなります。また南西モンスーンの影響による雨も想定され、注意が必要です。
- チャオプラヤ川流域のすべての主要ダムの貯水量は減少傾向にあります。また Bhumibol ダムの貯水レベルは依然として高くなっていますが、Pasak ダムは減少し始めています。
- チャオプラヤ川流域の主要河川・運河では総じて水位は低く現時点で洪水リスクは高くありません。

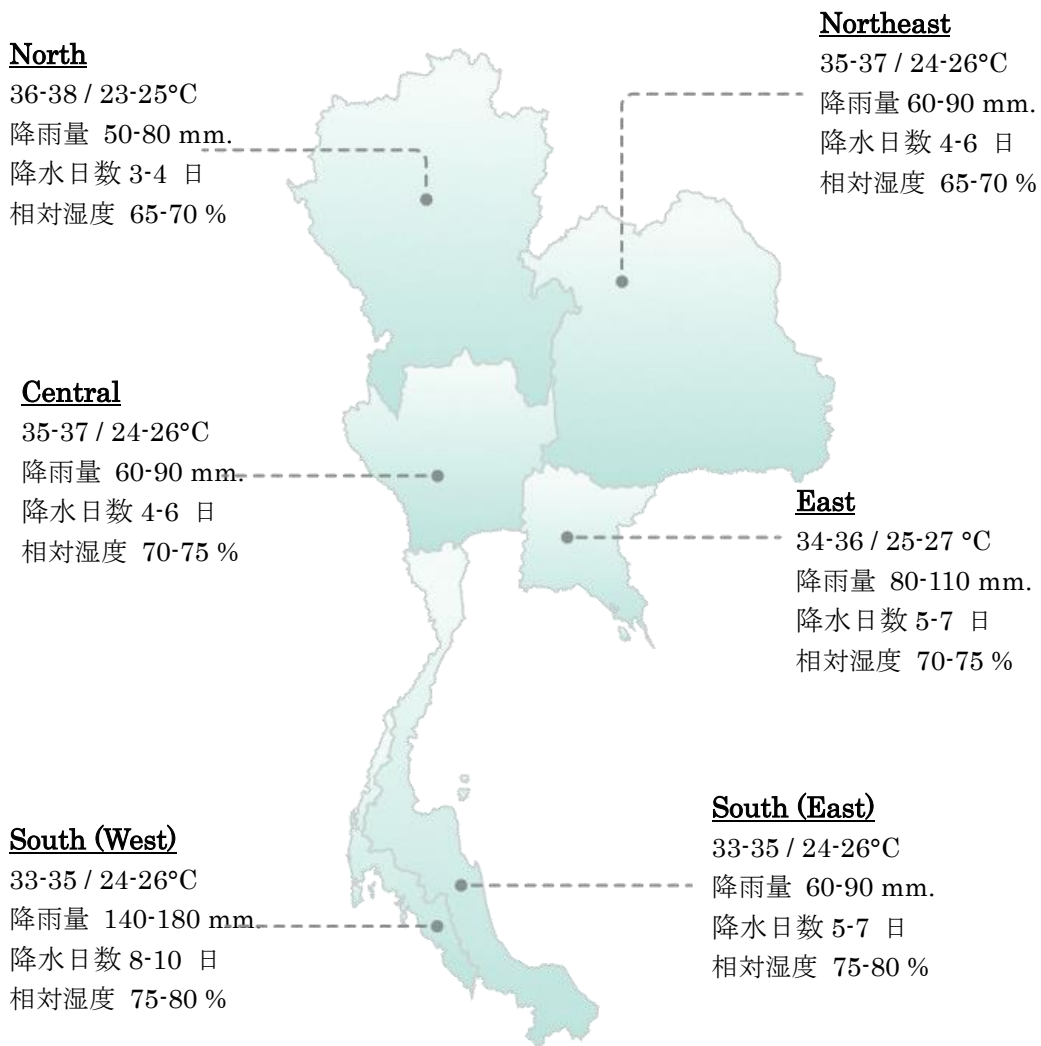
### 降雨量



上図は累積降雨量（左図：2022年1月1日～3月23日、中央図：2023年1月1日～2月28日、右図：2023年1月1日～3月23日）を示しています。先月と比較すると大きな変化はありませんが、昨年の同時期との比較では、特に北部地域において総雨量は大幅に少なくなっています。

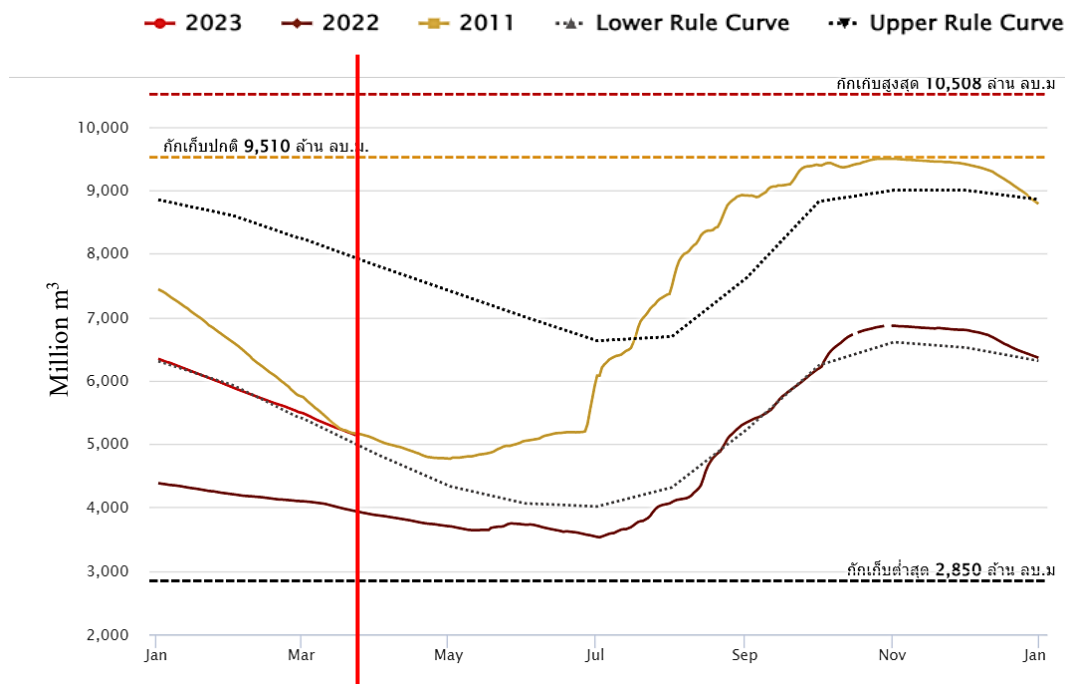
## 天気予報

4 月以降も特に北部と北東部では暑い日が続き、気温は南部を除く全ての地域で 40℃以上に達する可能性があります。降水量はやや少なくなる見込みですが、暑い気候と南東モンスーンによる低気圧の影響で中央部や東部では先月より多くなります。また、今月は熱帯低気圧が発生する可能性があり、注意が必要です。

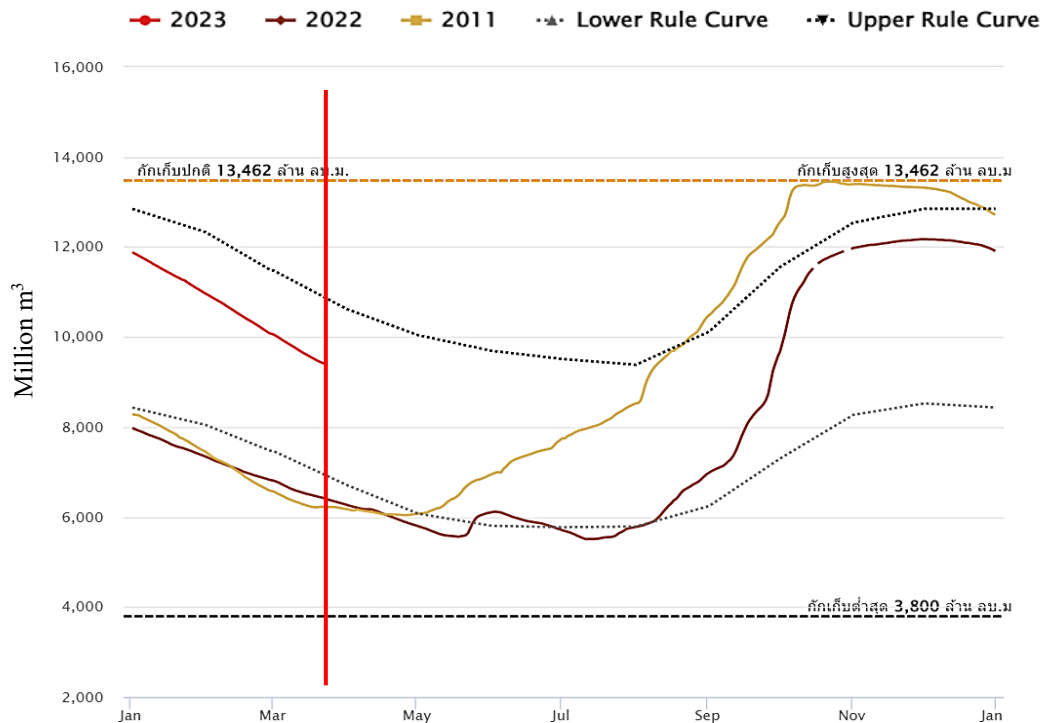


ダム貯水量 (Sirikit ダム, Bhumibol ダム)

貯水量： Sirikit ダム(54%, 2023 年 3 月 23 日)



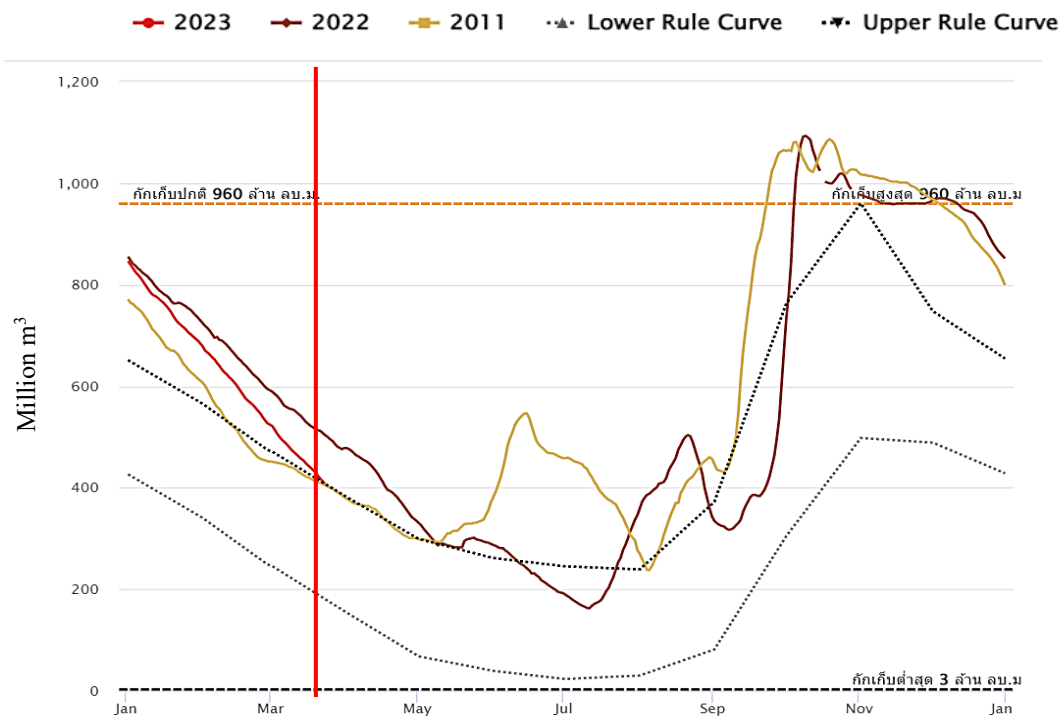
貯水量： Bhumibol ダム (70%, 2023 年 3 月 23 日)



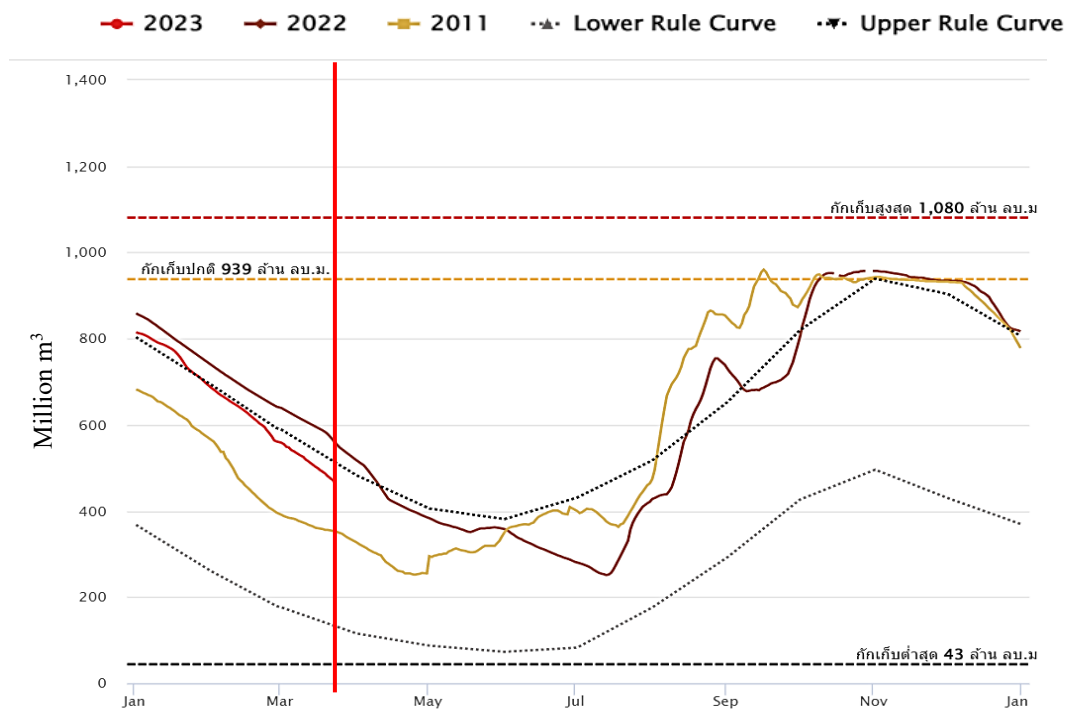
Sirikit ダムと Bhumibol ダムの貯水量は、降雨量の推移と連動し、依然として減少傾向です。Sirikit ダムの貯水量は 58%から 54%に、Bhumibol ダムの貯水量は 75%から 70%に減少しています。Bhumibol ダムの貯水量はまだ高いレベルとなっています。

## ダム貯水量 (Pasak ダム, Kwaenoi ダム)

貯水量： Pasak ダム (42%, 2023 年 3 月 23 日)



貯水量： Kwaenoi ダム(50%, 2023 年 3 月 23 日)



現時点の両ダムの貯水量は減少傾向にあり 2022 年より少ないものの、2011 年よりは多くなっています。Pasak ダムの貯水量は管理レベル内まで減少しています。

## チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム上流）

先月から Ping 川、Wang 川、Yom 川は増加傾向ですが、水位は低くの現時点でチャオプラヤダム上流の河川において洪水リスクは高くありません。

チャオプラヤ河川水位（2023 年 3 月 23 日時点）



### 【備考】

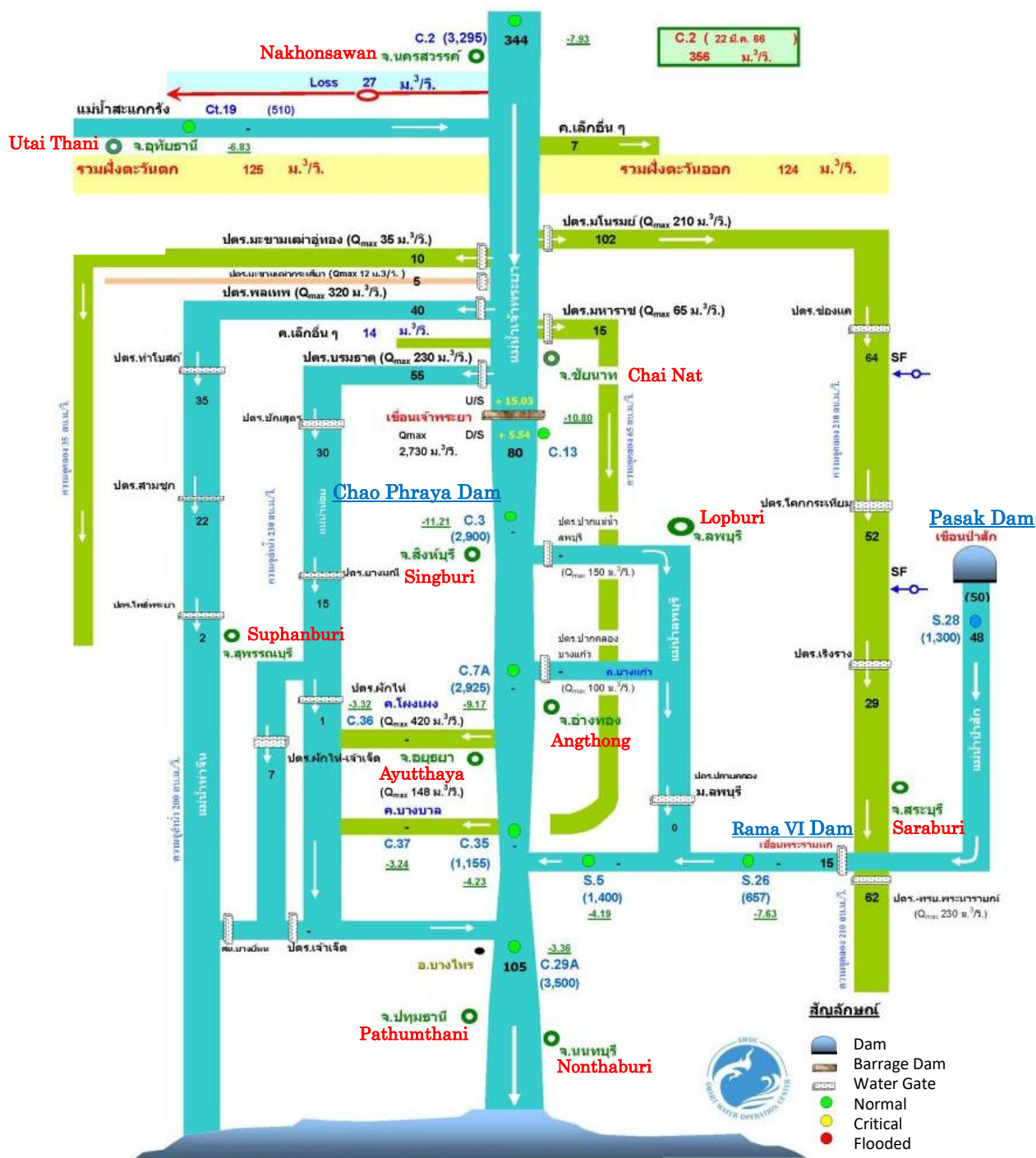
- 河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（ $\text{m}^3/\text{sec}$ ）
- 緑文字・+（プラス）－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0 になった場合、洪水が発生）
- 水位レベルの U/S、D/S は m で表示されています。



## チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム下流）

チャオプラヤダムの下流の流量は2月とほぼ同じ（80m<sup>3</sup>/sec）です。チャオプラヤ川の水位は堤防より7.93m 低く、現時点で洪水リスクは高くありません。

チャオプラヤ河川水位（2023 年 3 月 23 日時点）



### 【備考】

- 河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（m<sup>3</sup>/sec）
- 緑文字・+（プラス）－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0 になった場合、洪水が発生）
- 水位レベルの U/S、D/S は m. で表示されています。

## 参照

<http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/yearRain.php>

<https://www.tmd.go.th/forecast/monthly>

<http://water.rid.go.th/flood/flood/daily.pdf>

<https://www.thaiwater.net/water/ダム/large>

[http://water.rid.go.th/flood/plan\\_new/chaophaya/Chao\\_up.php?cal2=23032023](http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_up.php?cal2=23032023)

[http://water.rid.go.th/flood/plan\\_new/chaophaya/Chao\\_low.php?cal2=23032023](http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=23032023)

MS&AD インターリスク総研株式会社は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等は近隣の三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

### お問い合わせ先

MS&AD インターリスク総研(株) 総合管理部 国際業務グループ

TEL.03-5296-8920

<https://www.iriic.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

### お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road, Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand

TEL: +66-(0)-2679-5276

FAX: +66-(0)-2679-5278

<https://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。  
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研株式会社 2023